

-WEB 版動画講習会のご案内-

◆WEB版動画講習会のメリット

- ・インターネット動画が視聴できる環境であれば、いつでも、どこでも受講できます。
- ・テキスト(別売)がお手元があれば、申し込み(決済)後、すぐに受講できます。
- ・受講申込みされてから 30 日以内なら何回でも繰り返し再生できるので学習効果がアップします。

【建築CPD情報提供制度認定プログラム・JSCA 建築構造士登録更新評価対象講習(予定)】

ひとりで学べる RC造建築物の構造設計演習(許容応力度)-前編・中編・後編- 【WEB 版動画講習会 ー構造設計シリーズ RC 造編 基礎 I コースー】

(一財)日本建築センターが毎年開催し好評を博している「**技術セミナー 構造設計シリーズ RC 造編**」(2日間)のWEB版動画講習会です。テキスト執筆者である、**梶山健二先生、楠 浩一先生**を講師に迎え、実際の講習会と同様に、講義と計算演習(関数電卓の手計算)の取り組み方法について解説する内容で、自学自習で学べるプログラムとなっています。前編・中編・後編の3部構成。

*各編ごと、学習順序に従って講義を視聴したあと、テキスト付録の演習シートを使いながら、「ひとりでやってみよう」(演習問題)に取り組む構成になっています。

◆構造計算の実務に沿ったプログラム



前編 (151分) 受講料 10,000 円(税込) CPD 3 単位
:はじめに、使用材料、準備計算(荷重拾い等)



中編 (152分) 受講料 10,000 円(税込) CPD 3 単位
:鉛直荷重時応力の算定、水平荷重時応力の算定



後編 (217分) 受講料 10,000 円(税込) CPD 4 単位
:大梁の断面算定、柱の断面算定、柱梁接合部の設計

◆使用テキスト

ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習帳

【許容応力度計算編】

(第3版第4刷)

著者 梶山健二・楠 浩一

発行 日本建築センター

ISBN 978-4-88910-171-3

定価 3,800 円+税

★全国の書店でお求めいただけます。



◆WEB 版動画講習会の視聴イメージ

講義・演習の進め方<テキスト:序章>

I. はじめに

建築物の構造に關して、建築基準法では第30条で下記のとおり規定しています。そこで、建築物の構造種別や規模に關して、適切な構造計算法を行ない、「安全な構造」であることを確認する必要があります。

構造計算法 第30条

建築物は、自重、積載荷重、積雪荷重、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に對して安全な構造のものとして、次の各号に關する建築物の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める基準に適合するものでなければならぬ。(後略)

本書では、鉄筋コンクリート造建築物の許容応力度計算について、手順を踏って解説します。許容応力度計算とは、荷重を受ける建築物において、各部の応力度が所定の許容値(許容応力度)を超えないことを確認し、構造安全性を確保する手法であり、種ある構造計算手法の中で最も基本的なものでもあります。また、関連する法には、鉄筋コンクリート造建築物の構造に関する各種の仕様規定が定められており、計算手順の関連する箇所では説明を添えています。

講師
楠 浩一先生



◆WEB 版動画講習会のお申込み

日本建築センターの講習会ページからお申込みください。

日本建築センター 講習会

検索

右の QR コードから直接該当講習会のサイトにアクセスできます。



WEB版動画講習会

ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【許容応力度計算】

前編 準備計算等

■本動画の受講にあたっての留意事項

- ・下記の講義時間には演習時間は含まれていません。標準的に設定した演習時間を含めると246分（約4時間）の内容となります。演習を行うときは動画の視聴を一旦停止し、演習に取り組んでください。
- ・動画の途中で一旦視聴を止めた場合、次回再生は視聴を止めた位置からとなります。
- ・初回再生時には早送りや巻き戻しはできません。動画をひととおり初めから終わりまで再生した後は、早送り・巻き戻しが可能になります。
- ・建築CPD単位として受講する場合は、CPDシステムにログインが必要です。CPD単位は、動画1～5をすべて最後まで視聴した後、自動的に付与されます。
- ・本講習会の内容について質問がございましたら、以下のフォームからお願いします。受講者のみの受付となります。
(質問受付フォーム) <https://www.bcj.or.jp/form/webqa/>

前編 講義時間：約151分			(参考)
No	講習内容	講義時間	演習設定時間 (標準的な時間です。講義 時間に含まれていません。)
動画1	講義・演習の進め方<テキスト：序章> Ⅰ. はじめに Ⅱ. 構造計算フローと本書の構成 Ⅲ. 本書の使い方 Ⅳ. 注意事項	10分	
動画2	一般事項<テキスト：1.1> 1.1モデルプランと構造計算の方針 一般事項<テキスト：1.2～1.3> 1.2 使用材料と許容応力度 1.3 固定荷重・積載荷重の仮定 演習：ひとりでやってみよう／1	45分	10分
動画3	準備計算<テキスト：2.1> 2.1 ラーメン材の剛比 演習：ひとりでやってみよう／2～4	19分	30分
動画4	準備計算<テキスト：2.2> 2.2 鉛直荷重時のC、 M_0 、 Q_0 演習：ひとりでやってみよう／5 準備計算<テキスト：2.3～2.4> 2.3 鉛直荷重時柱軸方向力 2.4 各柱の荷重の拾い方（ C_1 柱2階の場合） 演習：ひとりでやってみよう／6	41分	20分 15分
動画5	準備計算<テキスト：2.5> 2.4.2 積載荷重の低減 2.5 地震力の算定 演習：ひとりでやってみよう／7～8	36分	20分
		151分	95分

WEB版動画講習会

ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【許容応力度計算】

中編 応力算定等

■本動画の受講にあたっての留意事項

- ・下記の講義時間には演習時間は含まれていません。標準的に設定した演習時間を含めると257分（約4時間15分）の内容となります。演習を行うときは動画の視聴を一旦停止し、演習に取り組んでください。
- ・動画の途中で一旦視聴を止めた場合、次回再生は視聴を止めた位置からとなります。
- ・初回再生時には早送りや巻き戻しはできません。動画をひとつおりの初めから終わりまで再生した後は、早送り・巻き戻しが可能になります。
- ・建築CPD単位として受講する場合は、CPDシステムにログインが必要です。CPD単位は、動画1～5をすべて最後まで視聴した後、自動的に付与されます。
- ・本講習会の内容について質問がございましたら、以下のフォームからお願いします。受講者のみの受付となります。
(質問受付フォーム) <https://www.bcj.or.jp/form/webqa/>

中編 講義時間：約152分			(参考)
No	講習内容	講義時間	演習設定時間 (標準的な時間です。講義 時間に含まれていません。)
動画1	鉛直荷重時応力の算定 <テキスト：第3章> 3.1 算定の方針 3.2 固定法の基本事項 3.3 固定法の手順 3.4 固定法による曲げモーメントとせん断力の分布 演習：ひとりでやってみよう／9～10	46分	25分
動画2	水平荷重時応力の算定 <テキスト：4.1> 4.1 柱の横力分布係数D 演習：ひとりでやってみよう／11 水平荷重時応力の算定 <テキスト：4.2～4.5> 4.2 耐震壁のD値の計算 4.3 各階のD値の一覧 4.4 層間変形角の検討 4.5 剛性率の検討 演習：ひとりでやってみよう／12	39分	10分
動画3	水平荷重時応力の算定 <テキスト：4.6> 4.6 偏心率の検討 演習：ひとりでやってみよう／13 水平荷重時応力の算定 <テキスト：4.7> 4.7 地震力による鉛直部材の負担せん断力 演習：ひとりでやってみよう／14～15	33分	15分
動画4	水平荷重時応力の算定 <テキスト：4.8> 4.8 柱の曲げモーメントの計算 演習：ひとりでやってみよう／16～17	16分	15分
動画5	水平荷重時応力の算定 <テキスト：4.9～4.10> 4.9 梁の曲げモーメントとせん断力の算定 4.10 柱の軸力の算定 演習：ひとりでやってみよう／18	18分	15分
		152分	105分

WEB版動画講習会

ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【許容応力度計算】

後編 梁柱の断面算定等

■本動画の受講にあたっての留意事項

- ・下記の講義時間には演習時間は含まれていません。標準的に設定した演習時間を含めると357分（約6時間）の内容となります。演習を行うときは動画の視聴を一旦停止し、演習に取り組んでください。
- ・動画の途中で一旦視聴を止めた場合、次回再生は視聴を止めた位置からとなります。
- ・初回再生時には早送りや巻き戻しはできません。動画をひとつおり初めから終わりまで再生した後は、早送り・巻き戻しが可能になります。
- ・建築CPD単位として受講する場合は、CPDシステムにログインが必要です。CPD単位は、動画 1～5 をすべて最後まで視聴した後、自動的に付与されます。
- ・本講習会の内容について質問がございましたら、以下のフォームからお願いします。受講者のみの受付となります。
(質問受付フォーム) <https://www.bcj.or.jp/form/webqa/>

後編 講義時間：約217分			(参考)
No	講習内容	講義時間	演習設定時間 (標準的な時間です。講義 時間に含まれていません。)
動画1	大梁の断面算定 <テキスト：5.1～5.2> 5.1 断面算定の方針 5.2 曲げに対する検討（主筋の算定） 演習：ひとりでやってみよう/19	49分	30分
動画2	大梁の断面算定 <テキスト：5.3～5.4> 5.3 せん断力に対する検討（あばら筋の算定） 5.4 主筋の付着に対する検討 演習：ひとりでやってみよう/20～21	50分	30分
動画3	柱の断面算定 <テキスト：6.1> 6.1 曲げと軸力に対する断面算定 演習：ひとりでやってみよう/22	46分	30分
動画4	柱の断面算定 <テキスト：6.2～6.3> 6.2 柱のせん断設計 6.3 主筋の付着の検定 演習：ひとりでやってみよう/23～24	36分	30分
動画5	柱梁接合部の設計 <テキスト：第7章> 7.1 検討の方針 7.2 短期許容せん断力 7.3 短期設計用せん断力 7.4 柱梁接合部の検討の手順 演習：ひとりでやってみよう/25	36分	20分
		217分	140分